

I. Webサイトのユーザビリティ・ポリシーの提案

■Webページの設計と制作におけるユーザビリティ・ポリシーの提案

Webページのテーマ「愛犬は素晴らしいパートナー」

Webサイト全体の構造に、的確な「使いやすさ」をめざすために使いやすいといわれる要因としてどのようなものがあるか概念的にとらえてみます。

○いま何ができるのか？ ユーザがその結果何が起こるのかが予想できるための方法として

愛犬に関して5のカテゴリーに分類しそれぞれのコンテンツをさらにリンクで理解できるようにする。素早く表示されるよう画像は最低の必要数と最小サイズにとどめる。

レイアウトはシンプルで見やすいページにする。コンテンツと各ページとの一連の流れに整合性がみられWebページが明確で、統一感のある色彩デザイン設計する。

いつでもWebページのコンテンツの更新をふまえ、やり直せる、戻れる、修正できるようにする。

制作していくと機能がどんどん付け加えていきたくするため、できるだけ不必要な機能は削除し、各機能をまとめていき、シンプルな方向へ持っていきたいと考える。

ユーザーが間違えにくい仕組みを的確に誘導する仕組みを作るためにインターフェイスに統一感を持たせたいマウスの移動量、キー入力の回数が少なく済むように考慮する。

ユーザーが覚えておかなければならないことはなるべく少なくなるよう考慮し、操作方法を一貫させ、ユーザーが覚えておかなければいけないことが多すぎる場合がないようなシステムづくりをする。

さらに、Web ページのユーザビリティ向上のための具体的な手立てを次のように設定します。

■色とフォント

- ・文字入力域であるフォームの大きさは高齢者が読みとりやすくする。(ゴシック FONT SIZE 3~5の範囲)
- ・表示するテキスト文字はブラック、リンクの色は黒・赤系、ページ背景の配色は文字が見えるようできかざり白基調とする。
- ・色づかいはできる限り数少なくする。(5~7色程度の範囲にとどめる)
- ・コントラストが分かる画面。1画面の中で使われる色の数や、フォントの数を抑える。また色のみアイコンの絵や形状はできるだけ避ける。

■画面サイズ

- ・1画面に収まるインターフェイスを考慮する。レイアウトの大きさは横800ピクセル、縦600ピクセルの画面サイズ程度の範囲とする。もちろんウィンドウのサイズには左右されない、大きくとも小さくともちゃんと機能し、閲覧することのできるようにする。画面のページを縦にスクロールしなければならない場合、大変不便であるため別ページへリンクさせ見たいところへ移動と戻る操作性を考慮する。

■素早いレスポンス

- ・Web ページの快適さは素早いレスポンス、つまり短時間内に表示されるページをめざす。
- ・Web ページのHTMLの記述を整理し、ファイルサイズを小さくすることによって素早く表示する。

■日本語の表記

- ・日本語の表記は簡潔に、段落に分けて表示することによってユーザーが読みやすくする。必要な場所に必要な分だけ表記する。
- ・Web ページは、できるだけ短い簡潔な文章で、時には個条書きする。Q&Aの使用はさけ、日本語で質問と回答を明確にする。

■インターネットをベースとしたサービス、アプリケーションについて

- ・ユーザーが操作しはしないとできないものはできるだけ避ける。例えばプラグインのインストールのもの 最近PC購入すれば基本的なものはインストールされている。しかし、古機PC使用(windows95.98 MacOS7.1 8.6~9.1)の低いバージョンのユーザーのことも考慮する。

●参考にしたリンク一覧

Jakob Nielsen 博士の Alertbox (日本語訳)
BM developerWorks : Usability (日本語訳)
AllAbout Japan / Web ユーザビリティ

<http://www.usability.gr.jp/alertbox/>
<http://www6.ibm.com/jp/developerworks/usability/>
<http://allabout.co.jp/computer/webusability/>

II. サイトコンセプト

1. サイトの目的と目標の設定

■ サイトの目的(なぜWebサイトを作るのか)

動物のペット普及により、たびたび動物虐待のニュースが報道されている。

その一つに、単に飼ったはいいが、すぐに捨てるという事態が多く見られ、時には人間の不満を動物にぶつけ犬や猫への暴行虐待が増えている。また、医療・医薬業界では、製品開発のため実験動物として利用されているのが現状である。

健康面からみると、ペット産業の巨大化により、ペットフードの原料に安価で粗悪なペットフードが出回り、原材料による食環境が損なわれ新たな病気の根源にもなっている。飼い主の飼育環境の面から見た場合、単に飼いたいという欲求から飼育されたペットは、全然「しつけ」がされなかったり、飽きて捨てられたりしている。そのことが、地域住民に迷惑を被る問題にまで発生している。

特に、飼い主による無駄吠えの無関心さが、住民の近所迷惑になったり、飼い主の排泄の後始末をしなければならぬマナーへの無関心さぶりがみられる。

これらの問題点は、まさに飼い主自身が動物をどう育て、人と犬とがよのようにつきあっていけばよいかを理解できなければ一向に解決はしない。このような問題点に少しでも解決できたらと考える。

本サイトの目的には、犬の実態を知っていただくことで、

- ・動物愛護の法律の必要性を理解していただくこと。
- ・犬を育てるには、どんな知識を知っておくべきかを、初心者対象に「犬の育て方やマナーのしつけ方」などの正しい情報を伝える。
- ・初めて犬を飼う場合のノウハウをできるだけ詳しく画像を含めやさしく理解できるよう構成する。
- ・家庭の中にとどまらず、積極的に社会参加をめざしたい人のためにNPOを中心に活躍されているグループの情報を提供をする。
- ・愛犬家による地域の社会参加と意識高揚をすることや実際に参加してコミュニティづくり にいたる必要性までの情報を発信する。

これらのことが多くの愛犬家の間で広まることで、一つでも上記の問題点の解決につながればと願うものである。

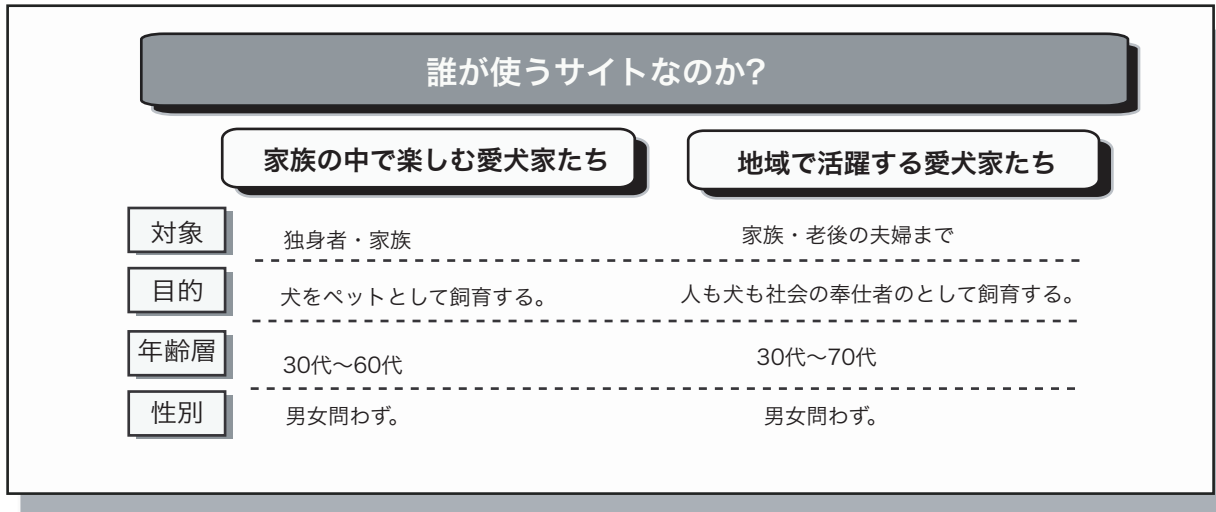
■ サイトの目標(Webサイトから得られるもの)

- より多くの愛犬家たちによる学びのコミュニティの場として人と犬とが共に住みやすい環境が生まれよう働きかける。
- 正しい愛犬の育て方を情報提供し、多くの意見を交換し地域社会でのペット問題点の解決を図る。(例えばNPO愛犬パトロール隊の立ち上げ事例による地域の治安維持行動)
- コミュニティの場を広げ、家庭から社会参加行動への意識を高める。
(掲示板・チャット・メーリングリストの活用を図る)

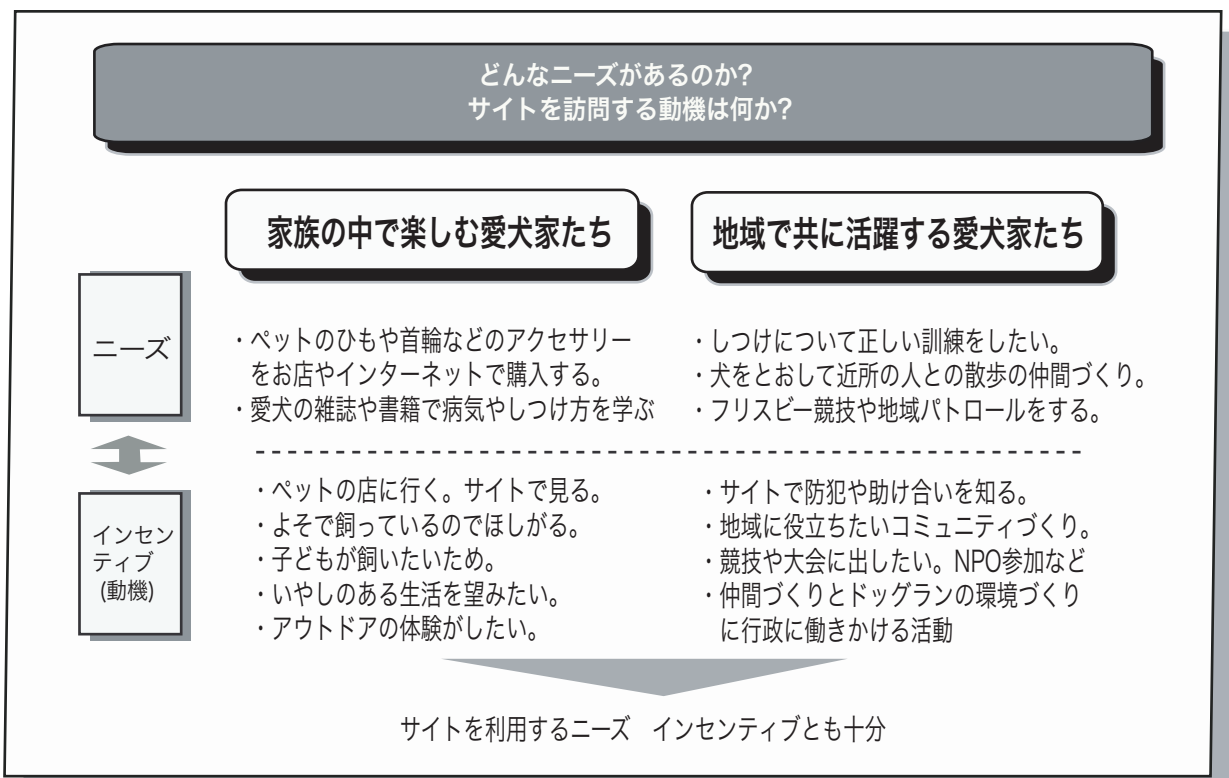
2. ターゲットユーザーの設定

- このサイトでは、愛犬家のためのサイトであるが、さらに犬をよく理解し地域社会の中で個人の愛玩的な範囲を超えて、犬への理解を深め地域の中でともに学び合い共に成長しようとして働きかけていく。意識の変革を望むより高い愛犬家へと導くことが目的であるターゲットは、若夫婦から高齢者にいたるペット愛好家を対象とする。

■ターゲットユーザーの定義



3. ユーザーニーズとインセンティブ(動機)によるユーザー像の具体化



4, 接続環境定義によるユーザー像の具体化

どんな環境からアクセスしてくるか?		
	家族の中で楽しむ愛犬家たち	地域で活躍する愛犬家たち
背景	家庭環境でまちまちISDN(56K) アナログ56K ADSL (1M)	家庭環境でまちまちISDN(56K) アナログ56K ADSL (1M)
OS	Windows	Windows 少数派だがMacintosh
接続スピード	ADSL (1M) ISDN(56K) 一部専用線	ADSL (1M) ISDN(56K) 一部専用線
接続場所	自宅	自宅 ・NPOなどの協会
ブラウザ	インターネットエクスプローラ ネットスケープ	インターネットエクスプローラ ネットスケープ
ディスプレイ 解像度	800×600ピクセル 640×480ピクセル	800×600ピクセル 640×480ピクセル

5, 競合調査

競合調査				
		競合サイトA	競合サイトB	競合サイトC
コンテンツ	会社概要NPO 採用情報 ニュースレター	○ × ○	○ × ○	○ ○ ○
デザイン	色 画像 コントラスト	白基調 アクセント程度 やや弱い	白基調 コンテンツごと違う 普通	白基調 コンテンツごと違う 普通
機能	セミナー申込 問合せ 検索	不明 △(メールのみ) ×	× ○ ○	○ ○ ○
ナビゲーション	階層 グローバルナビ IDコンポジション	浅い なし ×	浅い あり あり	浅い あり ×
トップページ	キャッチコピー メニュー一覧	○ ○	○ ○	○ ○

競合サイトA

日本同伴犬協会

<http://www.dogside.org/html/lesson.html#top>

競合サイトB

Travel Dog

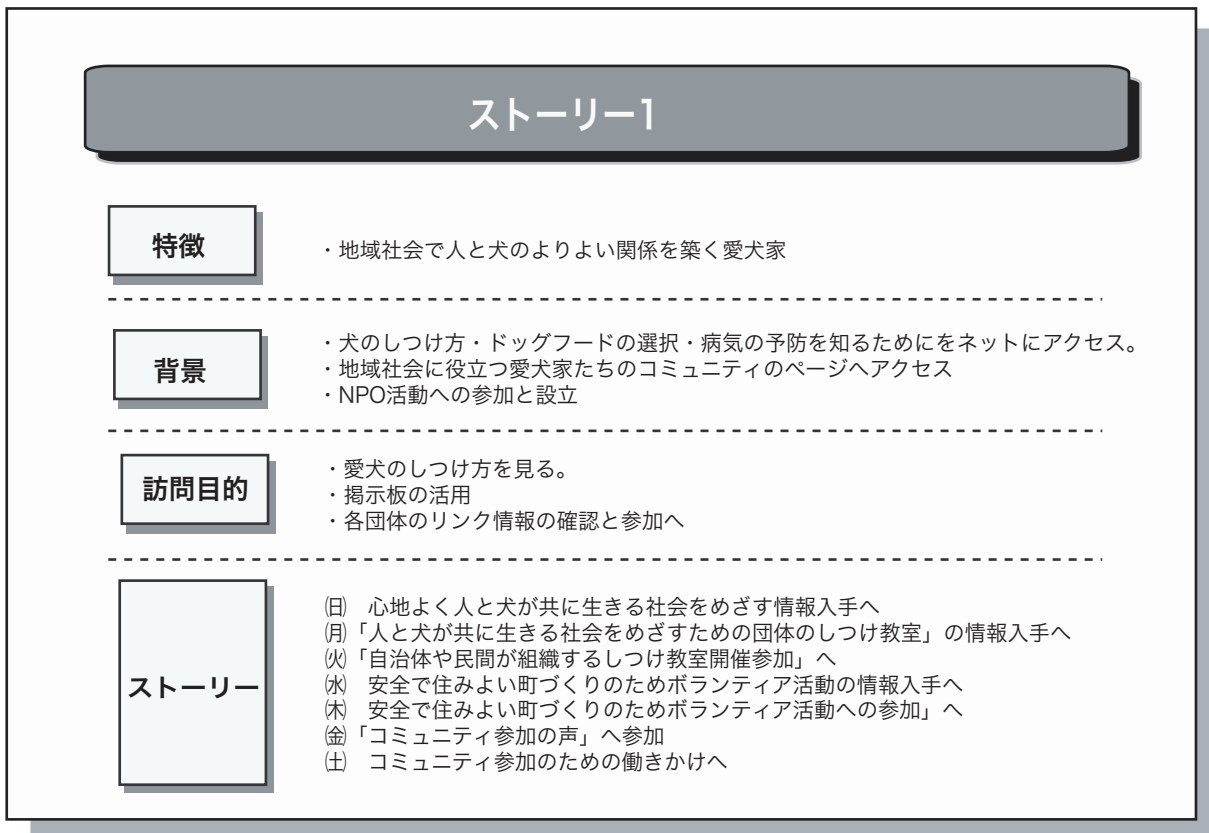
<http://www.traveldog.com/index.jsp>

競合サイトC

NPO日本レスキュー協会

http://www.japanrescue.com/j_rescue/program.html

6. ユーザー視点のシナリオづくり



7. Webページ制作環境

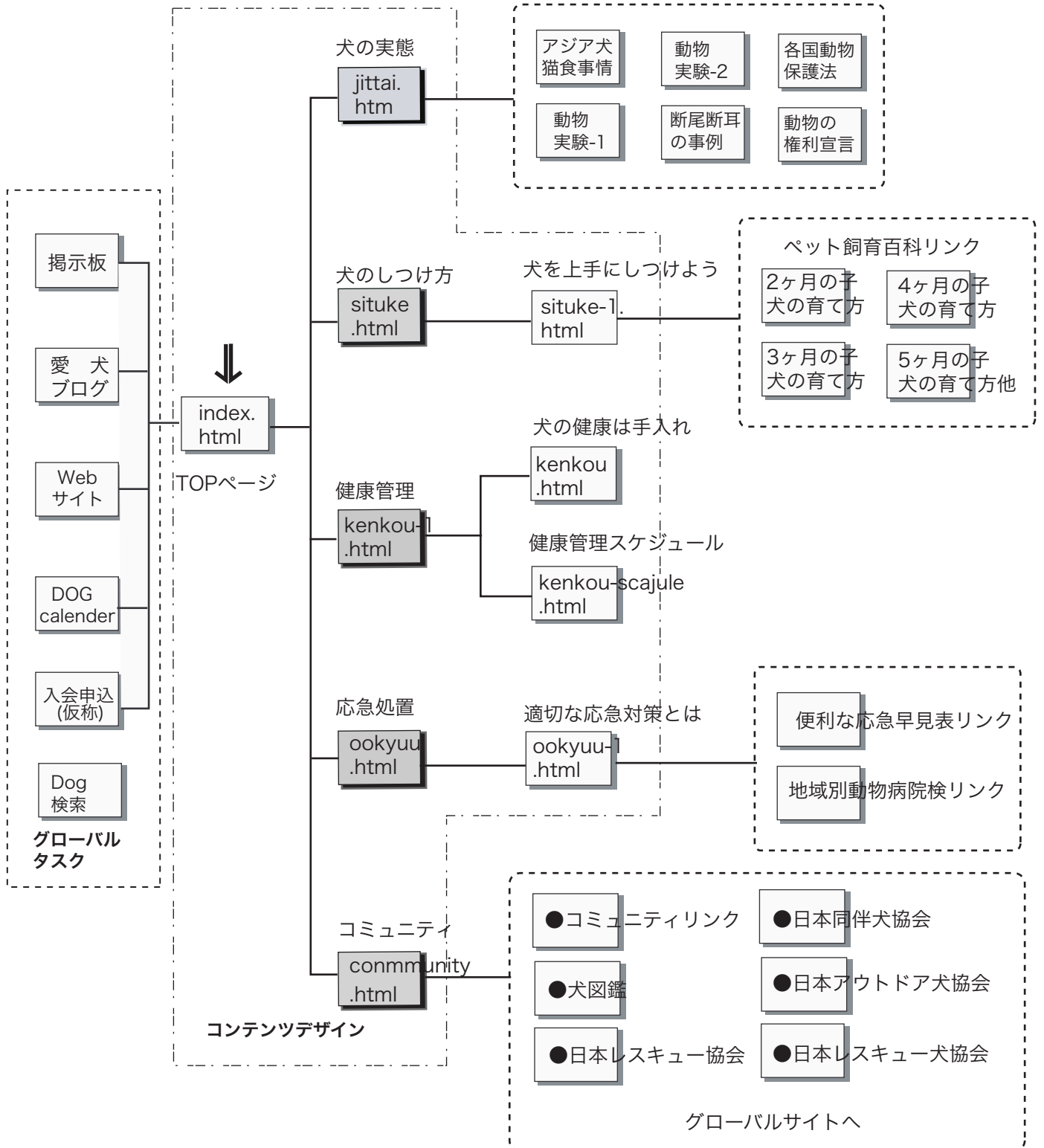
- コンピュータOS MacintoshOS X version 10.2.8
- ブラウザ Microsoft(R) Internet Explorer 5.2.3 for Mac(R)
Netscape 7.1
- ネットワーク 接続方法 ADSL 速度 2.59Mbps
推定速度1875.781kbps(1.875Mbps) 234.18kB/sec
- ソフト環境 HTMLテキストエディタmi version2.1.6 Daiske Kamiyama
著作権者Daiske Kamiyama <http://www.mimikaki.net/>
画像処理PhotoshopCS Version8.0.1(ImagereadyCS)
Adobe illustrator10 Macromedia Flash MX
- デジタルカメラ Sony syber-shot DSC-P3
- WebサイトHTML作成上の操作 HTML文とプレビューの確認および誤文修正確認のため
Dreamweaver MX(educasion版)を使用
- 参考書籍 HTML辞典(翔泳社 2001.4) Webアーキテクチャー(O'REILLY)
HTMLタグ辞典(第5版翔泳社2002.4)

III. Webサイトの構造図(サイトマップ)

グローバルサイト
エリア

コンテンツ
デザイン

↓ サイトの入り口



課題提出者 R059026 田中 利重

コンテンツデザイン

課題-2 Webページの設計と制作

保存形式 PDF

イラストレーターにて保存し

Adobe Reader 7.0にて一括保存をする。

課題について

●レポートのドキュメント 6枚

●CD-ROM 1枚

通信授業 添削についてご指導・ご鞭撻よろしく
お願い致します

提出日 平成17年 6月 1日